



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

1/8 (火)

テーマ：『倫理で感性を磨く』

出席26社29名
(美浜18、他会7、非会員4)

講師：東葛北地区長 清水 浩旦 氏



Hiroaki Shimizu

新年最初のMSに、素晴らしい倫理の実践をお話してくれた清水氏。朝食会も満員！

心の変化と1番の財産

清水氏は埼玉県深谷市出身、9人兄弟の8番目に生まれた。大学を卒業して会計事務所へ就職すると、「これからの時代は、会計士・弁護士より税理士だ」と感じ、昭和58年に清水会計事務所を開業。以来25年になるが、自分自身を振り返ると、心の在り様が依然とはがらっと変化したという。

事務所移転にしても、以前とはだいぶ変わった。昭和63年に、柏で2,500万円の事務所を購入した時は、嬉しかったし、「俺が俺が」という我也強かった。ところが、億単位で事務所を新築した今は、買ったのは自分だが、事務所は社員のもので、皆で働く楽しい職場だと自然と思える。

やはり、1番の財産は社員だと、気付けたことが大きい。1日の大半を職場で過ごす社員に、経営者として何が出来るか。これを常に考え、実践している。楽しい職場作り、少しでも多い給料、そして仕事後も買物や食事を楽しめる立地だ。清水氏は、「社員に豊かになって欲しい」という。

父からは創業者の思いを、母からは心の持ち方を、教わった

清水氏の父は、まだ車のない時代に、疎開時の荷物や利根川の良質な砂利を馬で運ぶ商売を始め、今も建材・土木を営んでいる。不況やゴタゴタを経験しながらも、戦前からずっと商売が続いている。父は「正直は一生の宝」とよく言っていた。創業者の思いや姿勢・経営理念は、額で飾るのも良いが、言葉だから言葉できちんと伝えることが大事なのだということを、清水氏は学んだ。

清水氏の母は、商売でもずっと父を支え、50歳の時、糖尿病で半年間入院した。退院後、立正佼成会など様々な勉強会に参加するようになり、がらっと人が変わった。89歳で亡くなる前日まで、頭もぼけたりせず、また体も健康に過ごせた。

母から学んだことは、心の持ち方・在り様が、船の舵のように働くということ。心が明朗なら、人生は幸せへと進む。他にも、人に親切にするとか、人の上に立つ人は我を張ってはいけないとか、内容は純粋倫理と同じだが、倫理が宗教と異なるのは、「実行によって正しさが証明できる生活法則」、つまり実行が大事という点だ。

商売で必要なのは、時中(じちゅう)を外さないこと

清水氏は、「事業は時流に乗れば永続するとよく言われるが、一概にそうは思わない。商売は、時の流れの中にあっても、ポイントやタイミングを押えてきちんと良い時に中(あた)ることが大事で、2~3年先の兆しを掴むには直観力を養う勉強と素直な心、これしかない」という。倫理という核なくしては、逆に時流に振り回され、自らを見失ってしまうからだ。清水氏は今年度のスローガンを、発表してくれた。

「終始一貫 素直な心で 前へ前へ前へ」。MS以外でも葉や倫理の本を読み、心の持ち方をチェックして、純粋倫理の原点に帰る。これをやるだけで、全然違ってくる。そして迷った時こそ、「前へ前へ前へ」が大事だ。

純粋倫理を勉強して、心の持ち方が変わったおかげで、自分自身が強く、そして深くなった。最近辛いことがあっても、「もう限界だ」などとは思わない。自分の殻を作らずに素直に受けとめて、臨機応変に対応できる。また昔は税法の条文を一語一語勉強したが、今はなぜそれが、そうなのかという税法の裏・奥が、素直に見える。

清水氏は、「人生に起きていることは自分の心の反映(鏡の法則)」といい、「この1年、倫理で頑張る！」と意気込みを語ってくれた。

☆入会おめでとう☆



医療法人
山田桑田
清貴様

次回 第861回MS! 1/15 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ：『お金と倫理』

講師：柏中央専任幹事 猫田 岳治 氏

できるできるやればできる！
明るく楽しくなければ倫理じゃない！
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく